



人を想い、
地球を想う

第107期 中間報告書

2021年4月1日から2021年9月30日まで



三ツ星ベルト株式会社

証券コード: 5192

主力のベルト事業が国内外で、コロナ禍前の水準に回復。 企業価値向上と持続可能な社会の実現に向けて社員一丸となり取り組んでまいります。

株主のみなさまには、平素格別のご高配を賜り、厚くお礼申し上げます。

第107期第2四半期連結累計期間の概況をお届けするにあたりまして、株主のみなさまのご懇情に心から厚くお礼申し上げます。

当第2四半期連結累計期間においては、世界経済は新型コロナウイルス感染拡大防止に向けたワクチン接種の進展に伴い、先進国を中心に停滞していた社会経済活動や生産活動に回復が見られました。一方、これら活動の回復下、需要と供給の不均衡が生じたことによる半導体の不足や、原材料価格、物流費等の高騰が続いており、先行きについては、依然として不透明で予断を許さない状況が続いております。

このような環境のなか、当社グループは引き続き感染拡大防止対策を講じつつ、2021年4月よりスタートした‘21中期経営計画の達成に向け、環境の変化にぶれない強い企業を目指し、より一層の経営の効率化とコスト削減に取り組み財務体質の強化を図っております。

その結果、当第2四半期連結累計期間の当社グループの業績は、売上高37,068百万円（前年同期比21.7%増）、営業利益3,998百万円（前年同期比104.1%増）、経常利益4,439百万円（前年同期比93.3%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益は2,917百万円（前年同期比82.3%増）となりました。

中間配当につきましては、1株につき33円、支払開始日を2021年12月3日と決定させていただきました。

今後の企業を取り巻く環境は、国内外で始まったワクチン接種と各国景気刺激策の効果が期待されて

おります。また、感染力の高い新型コロナウイルス変異株による感染拡大が報告されており、まだまだ収束が見えない状況に加えて、米中摩擦をはじめとする地政学的リスク等もあり、経営環境は依然として予断を許さない状況が続いております。

このような状況のもとで、当社グループといたしましては、三ツ星ベルトグループ全体で一段と経営の効率化とコスト削減に取り組むとともに、柔軟な生産体制の確立と販売体制の強化並びに強固な財務体質づくりを推進いたします。また、CO₂排出量の削減、自動車の電動化などの社会、産業界のニーズに対応できる「高機能、高精密、高品質な製品づくり」を目指すため、引き続き研究開発体制の強化・充実を図り、業績の確保に努めてまいります。

株主のみなさまには、今後とも一層のご指導とご鞭撻を賜りますよう、お願い申し上げます。

2021年12月



代表取締役会長

堀内 一



代表取締役社長

池田 浩

神戸事業所 第4棟が完成

当社は、'21中期経営計画に基づき、事業継続の長期的視野に立って、国内外各事業所の建物・設備等の整備を順次進めております。

2021年8月に、R&Dを含めた計画的な設備の更新・増強を目的として、神戸事業所中央工場に第4棟が竣工いたしました。同建屋と既存の第3棟屋上に太陽光発電システムを設置し、地球に優しい自然エネルギーの導入によるCO₂排出量の削減に努め、SDGsの取り組みを推進いたします。



所在地	兵庫県神戸市長田区浜添通4丁目1-21
稼動開始	2021年8月
延床面積	2,589㎡
投資金額	11億円（建物、設備機器）

連結業績の概況

当第2四半期連結累計期間の当社グループの業績は、売上高37,068百万円(前年同期比21.7%増)、営業利益3,998百万円(前年同期比104.1%増)、経常利益4,439百万円(前年同期比93.3%増)、親会社株主に帰属する四半期純利益は2,917百万円(前年同期比82.3%増)となりました。

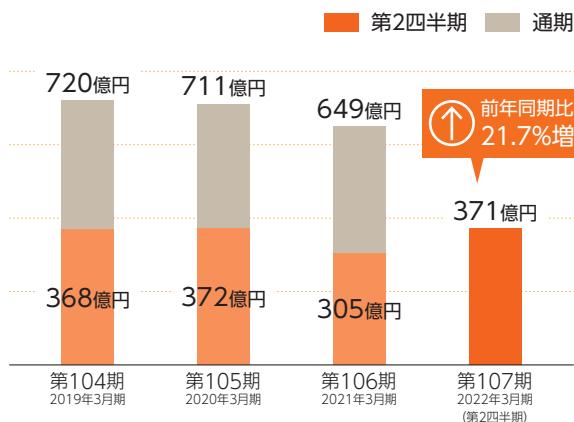
当第2四半期連結会計期間末は、流動資産が1,226

百万円、固定資産が3,066百万円それぞれ増加したことから、総資産は前連結会計年度末比4,293百万円増加の112,356百万円となりました。

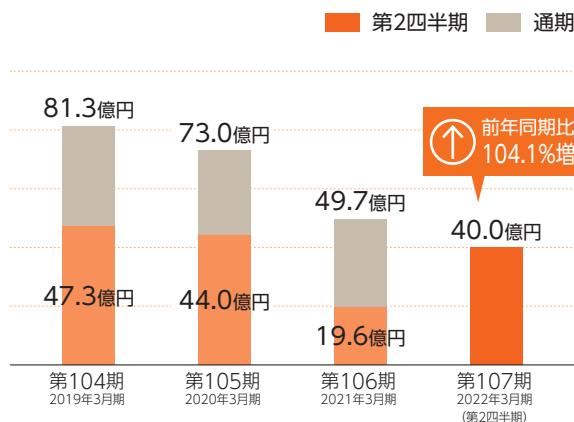
負債は、流動負債が943百万円、固定負債が62百万円それぞれ増加したことから、前連結会計年度末比1,005百万円増加の30,804百万円となりました。

純資産は、親会社株主に帰属する四半期純利益の計上等に

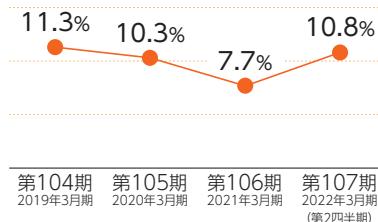
売上高



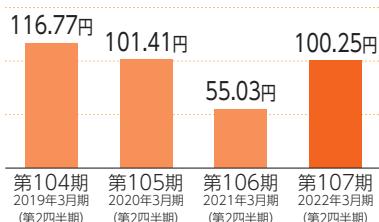
営業利益



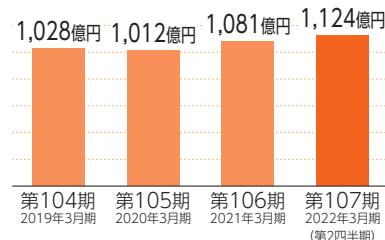
営業利益率



1株当たり四半期純利益



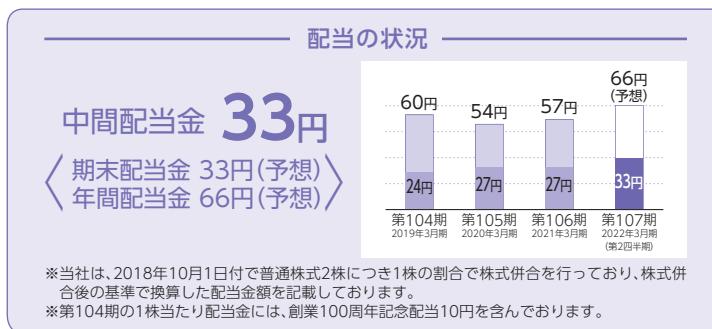
総資産



※当社は、2018年10月1日付で普通株式2株につき1株の割合で株式併合を行っております。第104期の期首に当該株式併合が行われたものと仮定して、1株当たり四半期純利益を算定しております。

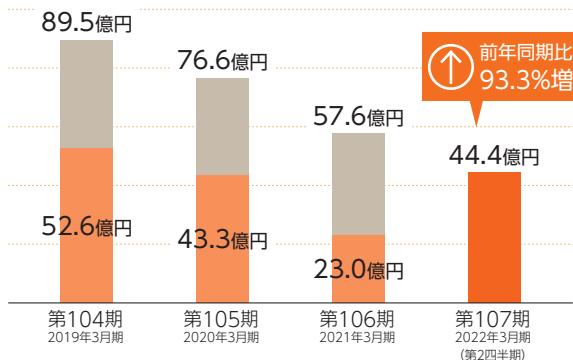
より利益剰余金が2,044百万円、その他の包括利益累計額が1,162百万円とそれぞれ増加した結果、前連結会計年度末比3,287百万円増加の81,551百万円となりました。

以上の結果、自己資本比率は前連結会計年度末の72.4%から72.6%に上昇しました。



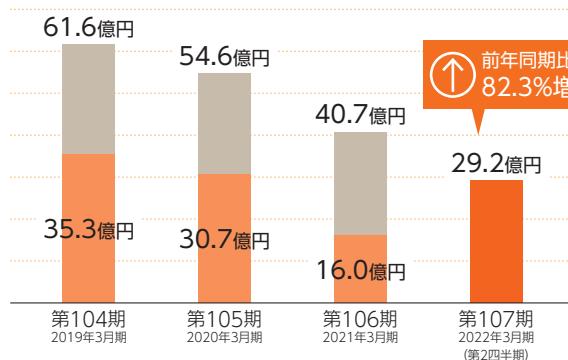
▶ 経常利益

■ 第2四半期 ■ 通期

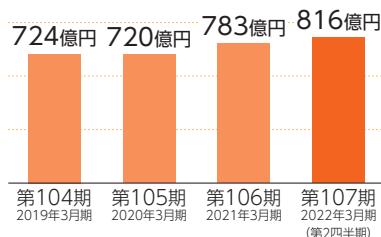


▶ 親会社株主に帰属する四半期(当期)純利益

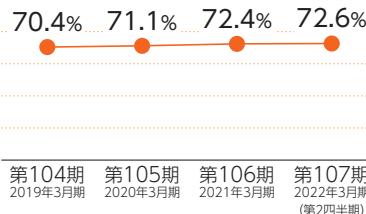
■ 第2四半期 ■ 通期



▶ 純資産



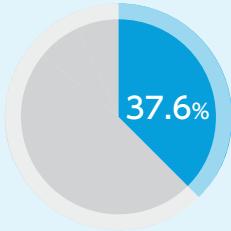
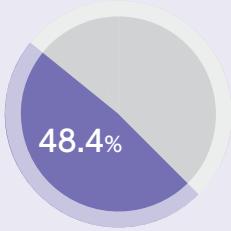
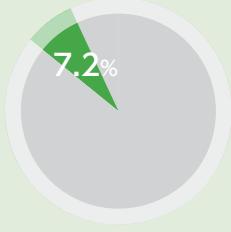
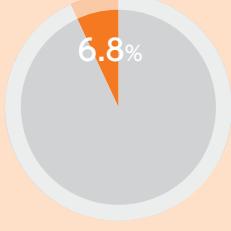
▶ 自己資本比率



2022年3月期連結業績予想

売上高	700億円
営業利益	73億円
経常利益	73億円
親会社株主に帰属する当期純利益	53億円

■ 事業部門別状況

事業区分	売上高構成比	
<p>国内ベルト事業</p> <p>売上高 139億18百万円</p> <p>営業利益 37億87百万円</p>	 <p>37.6%</p>	 <p>優れた耐久性に加え、高負荷伝動と低騒音を可能にした「メガトルクGⅢ」</p>
<p>海外ベルト事業</p> <p>売上高 179億31百万円</p> <p>営業利益 18億71百万円</p>	 <p>48.4%</p>	 <p>海外の大型農機用に開発されたマルチ（結合）タイプのラップドVベルト「MAXSTAR POWER」</p>
<p>建設資材事業</p> <p>売上高 26億83百万円</p> <p>営業利益 99百万円</p>	 <p>7.2%</p>	 <p>下地接着力、接合部強度と施工性が向上したゴムシートを用い、環境負荷が少ない「ファストバック工法」</p>
<p>その他</p> <p>売上高 25億34百万円</p> <p>営業利益 92百万円</p>	 <p>6.8%</p>	 <p>製造時の揮発性有機化合物（VOC）排出量を大幅に低減する「鏡面加飾用銀ナノ粒子ペースト顔料」</p>

概況

国内ベルト事業においては、前年同期と比較して主要顧客の経済活動が回復傾向にあることから、いずれの業界においても需要が回復いたしました。自動車用ベルトは、半導体不足による顧客の生産調整があったものの、生産回復に伴い、組み込みライン用の売上高が増加するとともに、補修市場向けも増加しました。

一般産業用ベルトは、射出成形機や工作機械、ロボット業界向けの販売が好調に推移するとともに、農業機械向けも政府補助金の効果により売上高が増加しました。

搬送ベルトは、食品業界や物流業界の回復に伴い、同市場向けの売上高が増加しました。合成樹脂素材の売上高も前年同期と比較して増加しました。その結果、当事業の売上高は13,918百万円（前年同期比17.2%増）、営業利益は3,787百万円（前年同期比85.9%増）となりました。

海外ベルト事業においては、新型コロナウイルス感染症の影響が大きかった前年同期と比較して、アジアや欧米のいずれの地域においても売上高が大きく回復いたしました。

自動車用ベルトは、米国ではスノーモービルや多用途四輪車向けの需要が大幅に回復し、東南アジア・中国においても二輪車用の売上高が増加しました。また、四輪車用については半導体不足の影響はあったものの、前年同期を上回る結果となりました。

一般産業用ベルトは、アジアや欧州において補修市場の拡販により、売上高が増加しました。また、OA機器用ベルトについてもユーザの生産回復に伴って、売上高が増加しました。

その結果、当事業の売上高は17,931百万円（前年同期比33.9%増）、営業利益は1,871百万円（前年同期比70.0%増）となりました。

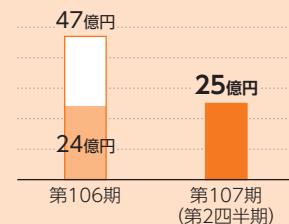
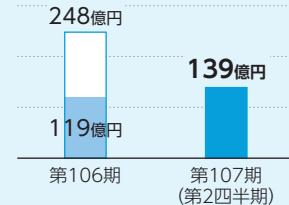
建築部門は、改修工事物件が回復傾向にあることから、売上高は前年同期を上回りました。一方、土木部門では廃棄物処分場などの工事物件の減少や、物件の規模縮小の影響を受け、売上高が減少したことから、全体では前年同期と比較して減少しました。

その結果、当事業の売上高は2,683百万円（前年同期比5.3%減）、営業利益は99百万円（前年同期比38.2%減）となりました。

その他には、エンジニアリング ストラクチャル フォーム、金属ナノ粒子を応用した新製品、仕入商品等が含まれております。

その他の売上高は2,534百万円（前年同期比7.3%増）、営業利益は92百万円（前年同期比634.6%増）となりました。

売上高の推移



四半期連結貸借対照表の要旨

(単位:百万円)

科目	前期末 2021年3月31日現在	当第2四半期末 2021年9月30日現在
資産の部		
流動資産	68,751	69,977
現金及び預金	33,771	34,144
受取手形及び売掛金	15,938	16,062
その他	19,041	19,770
固定資産	39,312	42,378
有形固定資産	23,511	24,882
無形固定資産	1,149	1,022
投資その他の資産	14,650	16,473
資産合計	108,063	112,356
負債の部		
流動負債	19,658	20,601
固定負債	10,141	10,203
負債合計	29,799	30,804
純資産の部		
株主資本	70,241	72,366
資本金	8,150	8,150
資本剰余金	2,111	2,119
利益剰余金	65,768	67,812
自己株式	△ 5,788	△ 5,716
その他の包括利益累計額	8,023	9,185
純資産合計	78,264	81,551
負債純資産合計	108,063	112,356

四半期連結損益計算書の要旨

(単位:百万円)

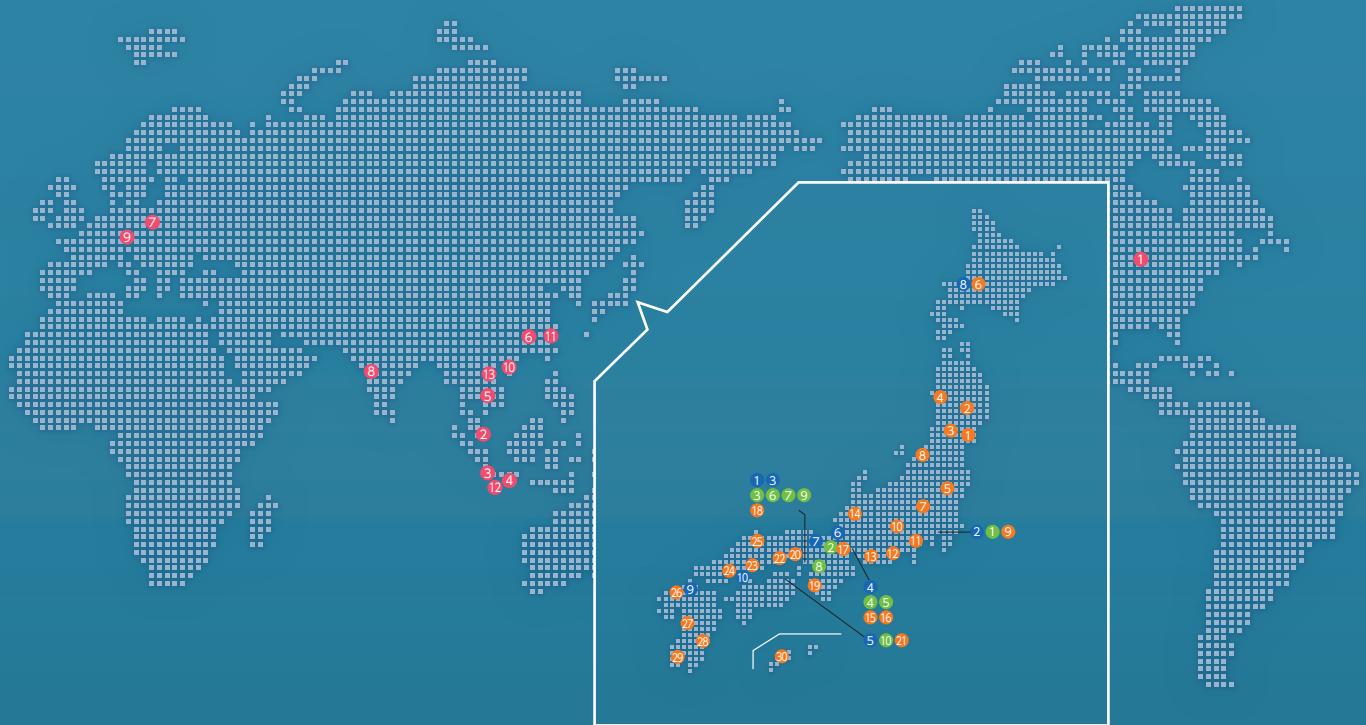
科目	前第2四半期(累計) 2020年4月1日から 2020年9月30日まで	当第2四半期(累計) 2021年4月1日から 2021年9月30日まで
売上高	30,459	37,068
売上原価	21,859	25,150
販売費及び一般管理費	6,639	7,919
営業利益	1,959	3,998
営業外収益	534	587
営業外費用	197	146
経常利益	2,296	4,439
税金等調整前四半期純利益	2,296	4,439
法人税等	696	1,522
四半期純利益	1,600	2,917
親会社株主に帰属する四半期純利益	1,600	2,917

四半期連結キャッシュ・フロー計算書の要旨

(単位:百万円)

科目	前第2四半期(累計) 2020年4月1日から 2020年9月30日まで	当第2四半期(累計) 2021年4月1日から 2021年9月30日まで
営業活動によるキャッシュ・フロー	2,458	4,308
投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 1,258	△ 4,186
財務活動によるキャッシュ・フロー	△ 1,458	△ 956
現金及び現金同等物に係る換算差額	△ 16	△ 469
現金及び現金同等物の減少額	△ 274	△ 1,304
現金及び現金同等物の期首残高	31,143	33,741
現金及び現金同等物の四半期末残高	30,868	32,437

(注) 表示金額は、百万円未満を切り捨てております。



国内の生産・販売拠点

三ツ星ベルト株式会社

- ① 神戸本社
- ② 東京本社
- ③ 神戸事業所
- ④ 名古屋工場
- ⑤ 四国工場
- ⑥ 滋賀工場
- ⑦ 綾部事業所
- ⑧ 札幌営業所
- ⑨ 福岡営業所
- ⑩ 広島事務所

三ツ星ベルトグループ会社

- ① 三ツ星ベルト販賣(株)
- ② 三ツ星コード(株)
- ③ 三ツ星ベルト工機(株)
- ④ 三ツ星ベルトコンベヤ(株)
- ⑤ 三ツ星ベルト樹脂(株)
- ⑥ 三ツ星ベルト技研(株)
- ⑦ 三ツ星物流工産(株)
- ⑧ ネオ・ルーフィング(株)
- ⑨ エムエムコート(株)
- ⑩ エム・ビ・エル・総合サポート(株)

三ツ星ベルト販賣株式会社

- ① 仙台営業所
- ② 盛岡営業所
- ③ 山形営業所
- ④ 秋田営業所
- ⑤ 郡山営業所
- ⑥ 札幌営業所
- ⑦ 北関東営業所
- ⑧ 新潟営業所
- ⑨ 東京営業所
- ⑩ 山梨営業所
- ⑪ 神奈川営業所
- ⑫ 静岡営業所
- ⑬ 浜松営業所
- ⑭ 金沢営業所
- ⑮ 小牧営業所
- ⑯ 名古屋営業所
- ⑰ 栗東営業所
- ⑱ 和歌山営業所
- ⑲ 姫路営業所
- ⑳ 四国営業所
- ㉑ 岡山営業所
- ㉒ 福山営業所
- ㉓ 広島営業所
- ㉔ 松江営業所
- ㉕ 福岡営業所
- ㉖ 熊本営業所
- ㉗ 宮崎営業所
- ㉘ 鹿児島営業所
- ㉙ 沖縄営業所

海外の生産・販売拠点

- ① MBL (USA) CORPORATION
- ② MITSUBOSHI OVERSEAS HEADQUARTERS PRIVATE LIMITED
- ③ PT. MITSUBOSHI BELTING INDONESIA
- ④ PT. SEIWA INDONESIA
- ⑤ STARS TECHNOLOGIES INDUSTRIAL LIMITED
- ⑥ 蘇州三之星機帯科技有限公司
- ⑦ MITSUBOSHI POLAND Sp. z o.o.
- ⑧ MITSUBOSHI BELTING-INDIA PRIVATE LIMITED
- ⑨ Mitsuboshi Belting Europe GmbH
- ⑩ MOI TECH HONG KONG LIMITED
- ⑪ 上海共星機帯國際貿易有限公司
- ⑫ PT. MITSUBOSHI BELTING SALES INDONESIA
- ⑬ MITSUBOSHI BELTING VIETNAM CO., LTD.

株式の概況 (2021年9月30日現在)

1. 株式

- 発行可能株式総数 130,000,000株
- 発行済株式の総数 32,604,198株
- 株主数 4,687名

◇ 所有者別状況(千株)



(注) 個人・その他には自己株式3,483千株が含まれています。

会社の概要 (2021年9月30日現在)

- 商号 ミツ星ベルト株式会社
Mitsuboshi Belting Ltd.

- 創業 1919年10月10日
- 設立 1932年10月10日
- 資本金 81億5,025万1,031円
- 従業員数 735名
- 営業品目

- ベルト** 自動車用ベルト、一般産業用ベルト、OA機器用ベルト、搬送ベルト、その他ベルト
- 建設資材** 建築用防水シート、土木用遮水シート及び関連製品
- その他** エンジニアリング ストラクチュラル フォーム、その他

- ◇ **事業場**
- 神戸本社** 神戸市長田区浜添通4丁目1番21号
☎(078)671-5071代表
- 東京本社** 東京都中央区日本橋2丁目3番4号
☎(03)5202-2500代表
- 札幌営業所** 札幌市豊平区豊平2条3丁目1番17号
☎(011)841-9135代表
- 福岡営業所** 福岡市博多区板付1丁目3番1号
☎(092)441-4451代表
- 名古屋工場** 愛知県小牧市大字西之島1818番地
☎(0568)72-4121代表
- 四国工場** 香川県さぬき市津田町津田2893番地
☎(0879)42-3181代表
- 滋賀工場** 滋賀県高島市マキノ町寺久保100番地2号
☎(0740)27-0133代表
- 神戸事業所** 神戸市長田区浜添通4丁目1番21号
☎(078)671-5071代表
- 綾部事業所** 京都府綾部市城山町7番1
☎(0773)43-3051代表
- 広島事務所** 広島県廿日市市桜尾2丁目2番39号
☎(0829)32-9223代表

2. 大株主 (上位10名)

株主名	持株数(千株)	持株比率(%)
日本マスタートラスト信託銀行株式会社	3,116	10.70
株式会社日本カストディ銀行	1,789	6.15
株式会社三菱UFJ銀行	1,170	4.02
星友持株会	992	3.41
NORTHERN TRUST CO. (AVFC) RE FIDELITY FUNDS	911	3.13
STATE STREET BANK AND TRUST CLIENT OMNIBUS ACCOUNT OM02 505002	800	2.75
三井物産株式会社	750	2.58
三菱UFJ信託銀行株式会社	686	2.36
NIPPON ACTIVE VALUE FUND PLC	672	2.31
三ツ星ベルト社員持株会	638	2.19

(注) 1. 当社は自己株式3,483千株を保有しておりますが、上記の大株主からは除外しております。

2. 持株比率は自己株式数を控除して計算しております。

役員 (2021年9月30日現在)

代表取締役会長	垣内 一	取締役	佐々木 孝
代表取締役社長 兼社長執行役員	池田 浩	取締役	倉本 信二
取締役兼 専務執行役員	山口 良雄	取締役	下村 徹
取締役兼 専務執行役員	中嶋 正仁	取締役	石田 和利
取締役兼 専務執行役員	熊崎 敏美	取締役	竹田 和浩
取締役兼 専務執行役員	又場 敬司	取締役	高田 俊通
取締役	宮尾 龍蔵	取締役	森田 直嗣
取締役	奥田 真弥	取締役	永田 昭裕
監査役 (常勤)	増田 健吉	取締役	西河 伸恭
監査役	奥島 吉雄	取締役	出口 勲
監査役	辻 泰弘	取締役	松井 優
監査役	田中 純		

(注) 1. 取締役宮尾龍蔵及び奥田真弥の両氏は、社外取締役です。

2. 監査役辻泰弘及び田中純の両氏は、社外監査役です。

会計監査人 EY新日本有限責任監査法人

株主メモ

- ◇ 事業年度 毎年4月1日から翌年3月31日まで
- ◇ 定時株主総会 6月
- ◇ 単元株式数 100株
- ◇ 剰余金の配当の基準日 期末配当金 毎年3月31日 中間配当金 毎年9月30日
- ◇ 上場金融商品取引所 東京証券取引所
- ◇ 株主名簿管理人
特別口座の口座管理機関 三菱UFJ信託銀行株式会社
- 同 連 絡 先 三菱UFJ信託銀行株式会社 大阪証券代行部
〒541-8502
大阪市中央区伏見町三丁目6番3号
電話(通話料無料)0120-094-777
- ◇ 公 告 方 法 電子公告により行います。
公告掲載ホームページは、https://www.mitsuboshi.com/japan/denshi_koukoku/index.htmlに掲載しております。
なお、事故その他やむを得ない事由によって電子公告による公告をすることができない場合は、日本経済新聞に掲載いたします。

(ご注意)

1. 株主様の住所変更、買取請求その他各種お手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関(証券会社等)で承ることとなっております。口座を開設されている証券会社等にお問合せください。株主名簿管理人(三菱UFJ信託銀行)ではお取り扱いできませんのでご注意ください。
2. 特別口座に記録された株式に関する各種お手続きにつきましては、三菱UFJ信託銀行が口座管理機関となっておりますので、左記特別口座の口座管理機関(三菱UFJ信託銀行)にお問合せください。なお、三菱UFJ信託銀行本支店でもお取次ぎいたします。
3. 未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行本支店でお支払いいたします。



当社ホームページでも、最新のIR情報をご案内しております。

<https://www.mitsuboshi.com/>